

しのろごのへのもりりよくち
篠路五ノ戸の森緑地

【景観上の特徴】

篠路五ノ戸の森緑地は、札幌の中でも最も早い時期から開拓が始められた地域のひとつにあり、当時の入植者が屋敷林として植え育ててきた植物が残される形で、平成 11 年（2004 年）に緑地として整備されました。

かつてこの辺りは「五ノ戸」と呼ばれた地区でした。定かではありませんが、青森県五戸地区からの開拓者が入植したと伝えられています。現在「五ノ戸」という名はあまり使われなくなりましたが、篠路の人々に慣れ親しんだ「五ノ戸」という地名を記念して、「篠路五ノ戸の森緑地」と名付けられました。

カツラやケヤキなどの大木や、札幌の景観色 70 色にも用いられている蝦夷延胡索（えぞえんごさく）などの花々と、およそ 200 種類の植物が見られます。またアオサギのコロニーがあることで知られており、鳥好きのカメラマンも多く訪れています。他にもエゾアカガエルの産卵も見られるなど、多様な生態系を育む自然豊かな景観資源です。



登録年月日	令和 6 年（2024 年）4 月 30 日
所在地	札幌市北区篠路 3 条 10 丁目
連絡・ 問い合わせ先	連絡先名：北区土木部維持管理課（土木センター内） TEL：011-771-4211
URL・資料	札幌市公式公園検索システム： https://www2.wagmap.jp/sapporo_koen/Portal
備考	<ul style="list-style-type: none">公園内の生き物や植物を採取・捕獲することは出来ません。ペットは、つないで散歩してください。フンはお持ち帰りください。アオサギのフンが落ちてくる場合があります。見学時にはご注意ください。

令和 6 年（2024 年）4 月時点